

2025年5月14日

第76期(2025年3月期)
決算説明資料



スタンダード 9367

当社グループについて

商社 食品メーカー 鉄鋼メーカー 化学品メーカー 量販店 倉庫業者 等のお客様

大東港運グループ

国 内



大東港運株式会社

(創業 1957年12月)

輸出入貨物取扱・鉄鋼物流・不動産賃貸 等

海 外

連結子会社

大東運輸倉庫(株)

陸上運送・倉庫・
不動産賃貸

丸田運輸倉庫(株)

海上コンテナ運送
トラック運送

大東港運(江陰)

儲運有限公司
倉庫

中国

FDロジスティクス(株)

海上コンテナ運送

(株)眞榮ロジ

海上コンテナ運送

Ever Glory Logistics Pte.Ltd.

運送・倉庫・
フレイトフォワーディング

シンガポール

HACCP



(株)水文

白えびの
買付・加工・卸売

ダイトウ保険センター(株)

損害保険代理店
※非連結子会社

DB CORPORATION

エージェント業務(貨物・船)
※持分法適用関連会社

韓国

2025年3月期の環境



一部に弱さを残しつつも下げ止まり



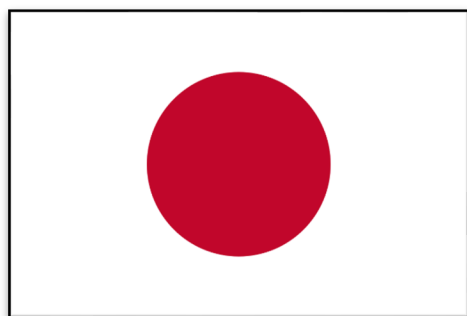
不動産・労働市場の調整により改善鈍化



企業収益は改善傾向
個人消費は増加基調



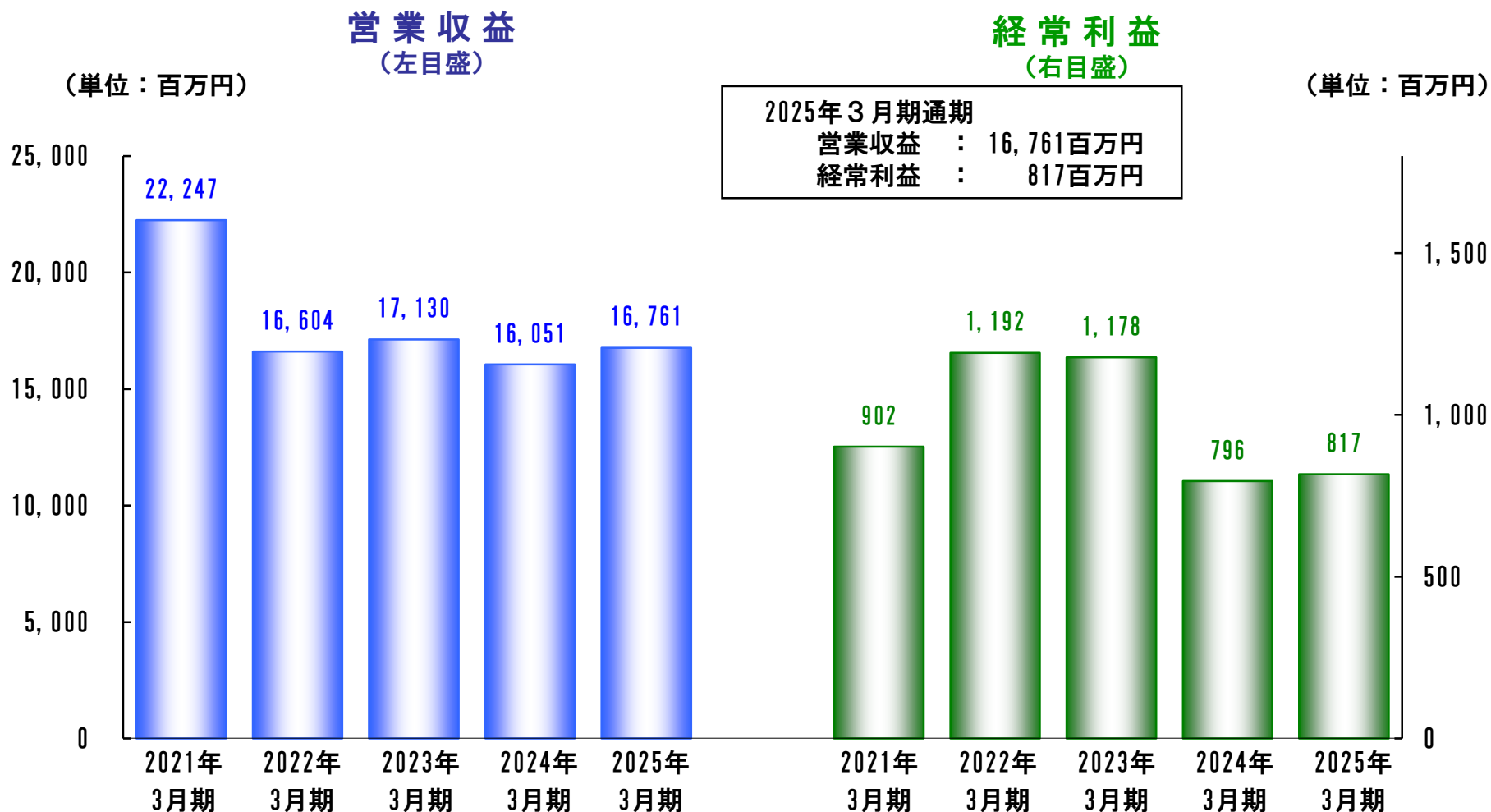
政策巡る不確実性
経済は堅調に推移



輸入：期を通じた円安の影響により弱含み

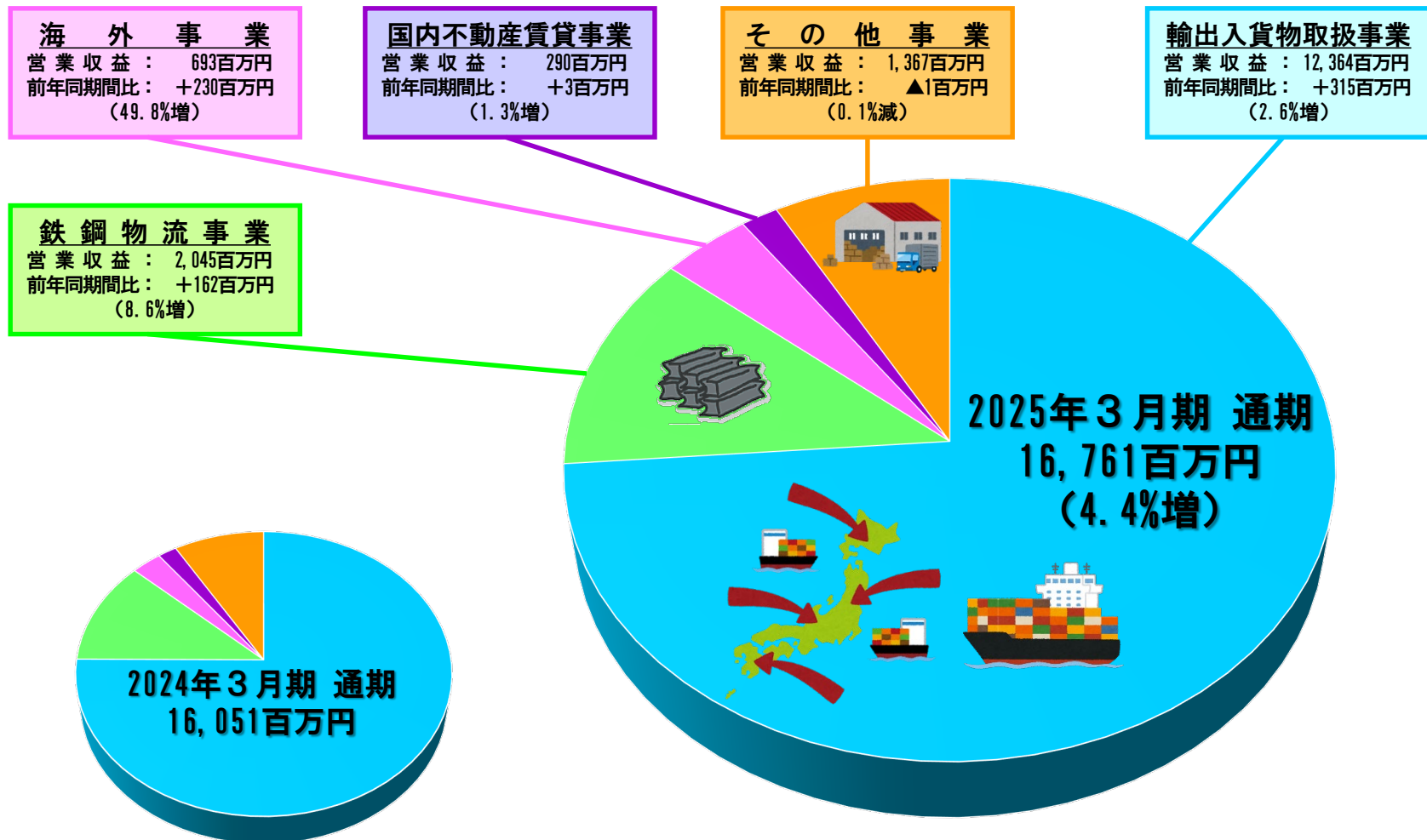
輸出：半導体関連を中心に持ち直しの動き

連結業績の推移



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

セグメント別営業収益



※当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、本資料の前年同期間比較については、前年同期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

業務別・取扱品目別連結営業収益

連結業績

営業収益：16,761百万円 前年同期間比：+710百万円（4.4%増）

輸出入貨物取扱事業

営業収益：12,364百万円
前年同期間比：+315百万円
（2.6%増）

鉄鋼物流事業

営業収益：2,045百万円
前年同期間比：+162百万円
（8.6%増）

海外事業

営業収益：693百万円
前年同期間比：+230百万円
（49.8%増）

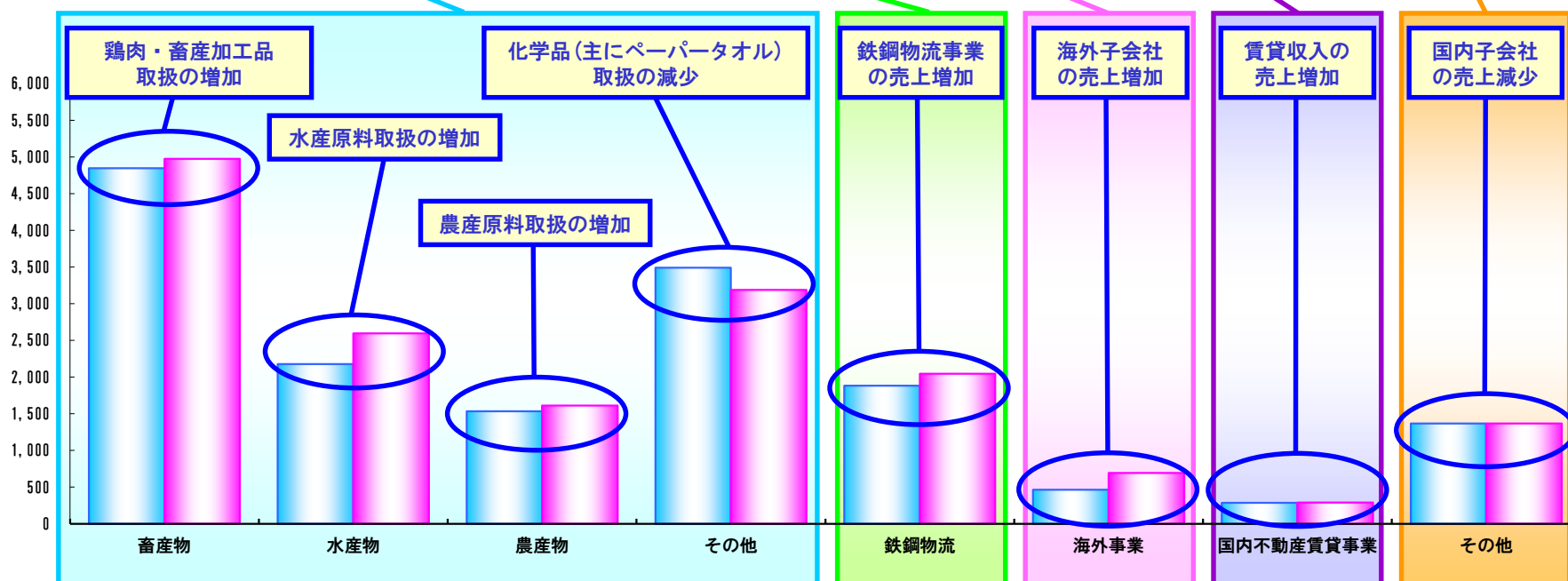
国内不動産賃貸事業

営業収益：290百万円
前年同期間比：+3百万円
（1.3%増）

その他事業

営業収益：1,367百万円
前年同期間比：▲1百万円
（0.1%減）

（単位：百万円）



□FY2023 通期 □FY2024 通期

連結業績の総括

連結業績の総括

営業収益は、輸出入貨物取扱・鉄鋼物流・海外事業・国内不動産賃貸の取扱が増加し、増収となった。増収により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となった。

(単位：百万円)

			2024年 3月期 通期	2025年 3月期 通期	増減	%	主な要因
営業収益	輸出入貨物取扱	畜産物	4,846	4,972	+125	+2.6	鶏肉・畜産加工品取扱の増加
		水産物	2,178	2,595	+417	+19.1	水産原料取扱の増加
		農産物	1,533	1,610	+77	+5.0	農産原料取扱の増加
		その他	3,490	3,186	▲304	▲8.7	化学品(主にペーパータオル)取扱の減少
		計	12,049	12,364	+315	+2.6	
	鉄鋼物流		1,883	2,045	+162	+8.6	鉄鋼物流事業の売上増加
	海外		462	693	+230	+49.8	海外子会社の売上増加
	国内不動産賃貸		286	290	+3	+1.3	賃貸収入の増加
	その他		1,368	1,367	▲1	▲0.1	国内子会社の売上減少
	合計		16,051	16,761	+710	+4.4	
営業利益			641	660	+19	+3.0	
経常利益			796	817	+21	+2.7	
親会社株主に帰属する 当期純利益			534	617	+82	+15.5	

四半期連結業績の推移（累計）

（単位：百万円）

			2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
			1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期
営業収益	輸出入貨物取扱	畜産物	1,359	2,633	3,838	4,955	1,387	2,561	3,733	4,846	1,335	2,566	3,849	4,972
		水産物	564	1,211	1,829	2,339	545	1,100	1,671	2,178	638	1,292	2,031	2,595
		農産物	443	857	1,305	1,674	419	820	1,199	1,533	403	797	1,226	1,610
		その他	1,074	2,157	3,241	4,150	850	1,706	2,676	3,490	830	1,631	2,485	3,186
		計	3,442	6,861	10,215	13,119	3,203	6,189	9,280	12,049	3,207	6,287	9,592	12,364
	鉄鋼物流	407	828	1,316	1,799	480	974	1,452	1,883	498	991	1,528	2,045	
	海外								462				693	
	国内不動産賃貸								286				290	
	その他	497	1,028	1,628	2,211	535	1,060	1,612	1,368	543	1,132	1,758	1,367	
	合計	4,346	8,718	13,160	17,130	4,219	8,224	12,345	16,051	4,250	8,411	12,880	16,761	
営業利益			315	589	898	1,038	223	393	589	641	178	372	648	660
経常利益			344	635	1,045	1,178	262	457	726	796	217	439	775	817
親会社株主に帰属する 四半期純利益 または当期純利益			231	427	702	783	173	279	485	534	140	301	525	617

連結貸借対照表の総括

(単位：百万円)

		2024年 3月期 期末	2025年 3月期 期末	増減	主な要因
資 産	流 動 資 産	8,414	7,519	▲895	現金預金 ▲823
	固 定 資 産	6,322	7,670	+1,348	有形固定資産 +1,456 無形固定資産 ▲32 投資その他の資産 ▲75
	合 計	14,736	15,190	+453	
負 債	流 動 負 債	3,258	3,239	▲18	短期借入金 ▲136 流動負債その他（主に未払金） +100
	固 定 負 債	2,313	2,381	+67	長期借入金 +267 退職給付に係る負債 ▲144
	合 計	5,571	5,620	+49	
純 資 産		9,165	9,569	+404	利益剰余金 +418

※2024年3月期 期末 自己資本比率61.1%（非支配株主持分を除いて計算）

※2025年3月期 期末 自己資本比率61.9%（非支配株主持分を除いて計算）

四半期連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

		2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
		1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末
資 産	流動資産	7,131	7,871	8,240	7,866	7,539	8,018	7,922	8,414	8,385	9,115	9,033	7,519
	固定資産	5,862	6,147	5,965	6,254	6,365	6,387	6,315	6,322	6,240	6,329	6,248	7,670
	合 計	12,993	14,019	14,205	14,120	13,905	14,405	14,238	14,736	14,625	15,445	15,281	15,190
負 債	流動負債	3,212	3,598	3,444	3,410	3,189	3,317	3,179	3,258	3,268	3,308	3,195	3,239
	固定負債	1,944	2,334	2,332	2,122	2,031	2,279	2,150	2,313	2,146	2,795	2,689	2,381
	合 計	5,156	5,933	5,777	5,533	5,220	5,596	5,330	5,571	5,414	6,104	5,884	5,620
純 資 産		7,836	8,086	8,427	8,587	8,684	8,809	8,908	9,165	9,210	9,340	9,396	9,569

連結キャッシュ・フローの総括

(単位：百万円)

	2024年 3月期 通期	2025年 3月期 通期	キャッシュ・フローのポイント (2025年3月期 期末)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,035	919	税金等調整前当期純利益 +917 減価償却費 +299 売上債権の減少額 +146 未収消費税等の増加額 ▲116 法人税等の支払額 ▲170
投資活動による キャッシュ・フロー	▲207	▲1,526	保険積立金の積立による支出 ▲114 有形固定資産の取得による支出 ▲1,552 投資有価証券の取得による支出 ▲115 投資有価証券の償還による収入 +100 投資有価証券の売却による収入 +178
財務活動による キャッシュ・フロー	71	▲218	長期借入による収入及び支出 +186 リース債務の返済による支出 ▲156 配当金の支払額 ▲198
現金及び現金同等物に 係る換算差額	10	▲0	
現金及び現金同等物の 増減額	909	▲826	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,819	2,993	

通期の連結業績予想について

2026年3月期 連結業績予想について

(単位：百万円)

	2025年 3月期 通期	2026年 3月期 通期予想	増減	説 明
営業収益	16,761	17,500	+738	当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーに加え、資本コストと株価をより一段と意識した経営に努め、第8次中期経営計画「Be Sustainable ～サステナブルを目指して～」(2023年度～2025年度)に掲げた重点施策を実行し、持続的な成長と収益性の向上を図ります。 これら施策の推進により、当社グループは、中長期的に資本コストを上回る資本収益性を達成し、社会および市場から選ばれ続ける企業グループを目指します。
営業利益	660	920	+259	
経常利益	817	1,000	+182	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	617	670	+52	

配当金について

1株当たり配当金・配当性向（連結）

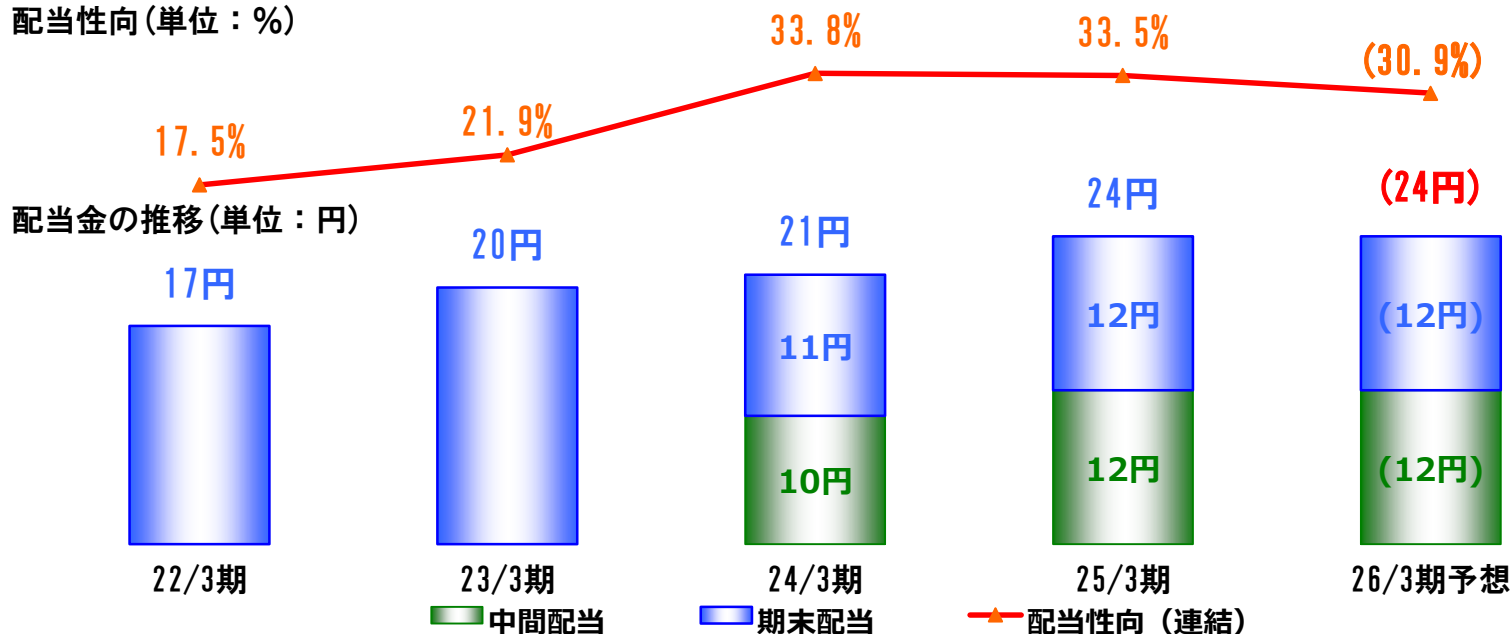
当社は、株主の皆様の長期的な利益還元を重要な課題であると認識し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

配当については、中長期的視点での企業価値向上のために必要な事業投資を継続したうえで、1株当たり年額20円を下限とし、各事業年度の収益力向上を考慮しつつ、配当性向30%程度を目安として実施します。

中間配当及び期末配当の年2回実施することを基本方針といたします。

24年3月期から配当を年1回→年2回に変更

配当性向（単位：％）



Be Sustainable ～サステナブルを目指して～

基本理念・『「ありがとう」にありがとう』のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく、第8次中期経営計画2023-2025を実行します。

100年企業
に向かって

2017

第6次中期経営計画

Diversification 変化による進化

- ・ 営業力強化
- ・ 生産性向上
- ・ 事業拡大

2020

第7次中期経営計画

Develop inherent value 独自の価値創造

- ・ コア事業の拡大と基盤強化
- ・ 物流インフラ事業の拡充
- ・ 人財育成の高度化
- ・ グループ全体成長

2023

第8次中期経営計画

Be Sustainable サステナブルを目指して

- ・ 持続的価値の拡大
- ・ 営業組織力・人財力・IT力の強化
- ・ 環境課題・社会課題に配慮した事業推進
- ・ グループの成長と発展

骨子と取り組み状況①

当社グループを取巻く環境が急速に変化し、価値観が多様化していく中で、成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による持続的成長を実現するため、以下の4骨子から成る中期経営計画を策定し、各種取り組みを実施しております。

I 持続的価値の拡大

コア事業の更なる拡大と新たな成長へ向けた派生事業領域への挑戦

主な取り組み

- 輸出入関連取引、国内取引の強化を推進しています。
- 食品物流サービスの強化を目的とした、商船三井ロジスティクス株式会社様との戦略的提携に合意しました。

II 営業組織力・人財力・IT力の強化

営業力向上による付加価値提供力の強化、人・ITの連携による生産性の向上

主な取り組み

- 生産性向上プロジェクトチームを発足し、生産性10%アップの取り組みを開始しました。
- リスキル・リカレントメニューを構築し、社員の教育プログラムや資格取得支援制度などを整備しました。

骨子と取り組み状況②

Ⅲ

環境課題・社会課題
に配慮した事業推進

事業を通じた環境課題と地域社会への貢献

主な
取り
組み

- サステナビリティ委員会を設置し、マテリアリティの特定を開始しました。
- 業務車両の削減およびHV化を推進し、CO2排出量の削減を図りました。
- 地域貢献およびスポーツの力による社員の一体感醸成を目的とし、バスケットチーム「アースフレンズ東京Z」のオフィシャルスポンサーへ参加しました。

Ⅳ

グループの成長と
発展

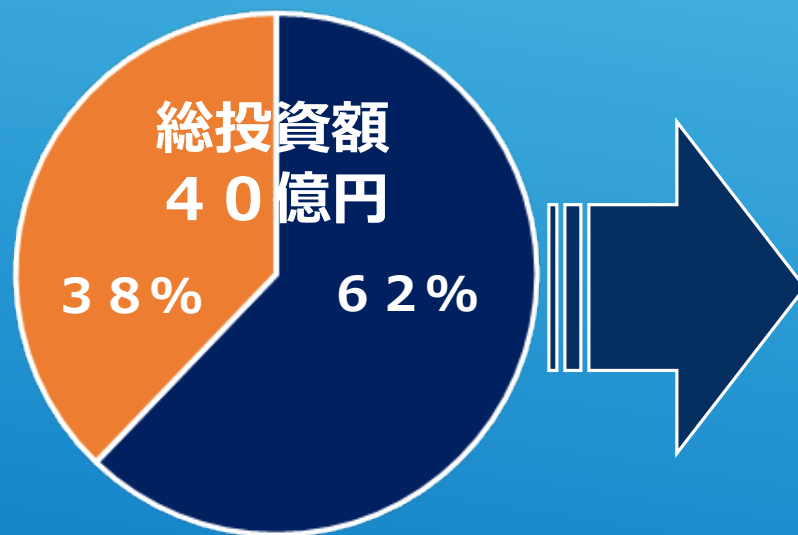
グループ各社の業容拡大とシナジー強化

主な
取り
組み

- シンガポール子会社 Ever Glory Logistics Pte. Ltd.が、新たな物流需要の取り込み・更なる業務拡大を目的とした、倉庫物件を取得しました。
- 子会社(株)水文の第二工場新設と増資を実施しました。
- 子会社内部統制の見直しと強化を図りました。

第8次中期経営計画(2023 – 2025年度) 投資の状況

2023年4月から2025年3月までの投資額は24.9億円で、第8次中期経営計画で予定している総投資額40億円に対して、62%の進捗率となっております。また、2024年8月20日に株式の分布状況の改善および流動性の向上を図る事を目的とした、立会外分売（25,000株）を実施しました。



投資カテゴリ	投資金額（百万円）
事業	1,956
人的資本	249
DX・IT	251
ESG	30
計	2,486

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問合せ先

大東港運株式会社

総務部総務課

TEL : 03-5476-9701

E-mail : soumu@daito-koun.co.jp

URL : <https://www.daito-koun.co.jp/>